

## 令和年8度 第1回 浜松市立瑞穂小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年5月15日（金） 13時15分～15時40分
- 2 開催場所 瑞穂小学校 CSルーム
- 3 出席委員 伊藤 雅文、佐々木 美香、清水 淳子、小池 静子、渡邊 明日香、  
笠原 剛、鈴木 里佳、新村 竜馬
- 4 欠席委員 石野 和彦
- 5 学 校 戸嶋 秀樹（校長）、倉田 智幸（教頭）、菅沼 秀明（主幹）、大軒 亘（CS  
担当教職員）、片山 里紗（CS ディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CS ディレクター 片山 里紗

### 8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、新村委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

### 9 協議事項

- (1) 瑞穂小学校運営基本方針について
- (2) いじめ防止等のための基本的な方針について
- (3) 夢育やらまいか事業 CS 加算分に対する意見書について

### 10 会議記録

司会の教頭から委員総数9人のうち8人の出席があり過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。また、委員の方々には、授業の様子も参観していただいた。

#### (1) 瑞穂小学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ◆タブレットやスマホで調べれば簡単になんでも分かってしまう。考える力をいかに育てるかが課題になるだろう。（伊藤会長）
- ◆子供が学びたくなる授業づくりにより、やってみよう、学んでみたいという気持ちが育まれるのがとても良いと感じた。（佐々木副会長）
- ◆子供の主体性に沿った授業、子供の思いなども取り入れてくれているところが素晴らしいと思う反面、準備をする先生は大変だろう。学校側の思いが保護者にもっと伝われば理解が深まるのではないか。（清水委員）（渡邊委員）
- ◆以前の授業とは大きく変わり、映像を取り入れ、分かりやすい授業が増えている

と感じた。

また、授業の中で自分の良いところ探しをしたり、他人を認め、認められる経験から、自分自身を認めることができれば、意欲を育てるということにもつながるだろう。(小池委員)

- ◆取り出し授業で救われる子供もいるだろう。また、命を守る行動は大事であり、いろいろな仕掛けができるとさらに子供たちの意欲や、やる気がでるのではないか。(笠原委員)
- ◆学校の思いがもっと伝われば理解がさらに深まり、学校、保護者、地域で協力し合い、子供を育てることができるだろう。また、褒められるという経験が、自分らしさを認知し、自信につながると感じた。(鈴木委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

## (2) いじめ防止等のための基本的な方針について

議長の指示により、別紙資料「浜松市立瑞穂小学校いじめ防止基本方針」に基づく説明を教頭が行い、委員から以下の発言があった。

- ◆スマホ内での表立っていないいじめもあるが、そのような場合、学校は関知するのか。(鈴木委員)
- ◇学校外での出来事であるため全貌の把握が難しいが、それがきっかけとなり学校内でトラブルになったり、登校が難しくなってしまう場合もあるので関知せざるを得ないのが現状である。  
子供たちや保護者に対して、情報モラル講座をできるだけ開催し、トラブルの未然防止に努めている。(教頭)

## (3) 夢育やらまいか事業 CS 加算分に対する意見書について

議長の指示により、教頭より別紙資料に基づき、夢育やらまいか事業予算について説明があった。昨年度に続き、本校ボランティア団体「花の会」の活動における必要物品等の購入への算出を計画するとの報告があった。

## その他報告事項等

- ①学校支援コーディネーターからボランティアについての報告があった。  
昨年同様、学校側と話し合いを重ねながら、各活動の支援を実施していきたい旨、報告があった
- ②司会の教頭より、次回の協議会は7月2日(木) 13:00～15:00CS ルームで開催予定である。

以上